

ブラジル・アルミニウム製錬事業関係会社「日本アマゾンアルミニウム」へ増資 グリーンアルミ原材料の安定供給体制を強化し、脱炭素化・循環型社会を実現

YKK AP 株式会社（本社：東京都千代田区、社長：魚津 彰）は、12月19日、ブラジルのアルミニウム製錬事業会社アルプラス社に49%出資する日本アマゾンアルミニウム株式会社（本社：東京都中央区、社長：岡田 俊郎、以下、NAAC）の株式のうち、住友化学株式会社（本社：東京都中央区、社長：岩田 圭一）が保有する株式の全部を譲受しました。また、NAACの第三者割当増資を受け、これによりYKK APのNAACへの出資比率は2.02%から6.31%に上昇し、アルプラス社で生産されるアルミ地金の取引数量が約2倍に増加する見込みです。

NAACは、1977年にアマゾンアルミ・プロジェクト（※1）への日本側投資会社として設立され、出資するアルプラス社は、アマゾン地域の再生可能エネルギーを活用したアルミ製錬を行っており、製造時のCO₂排出量を抑制した「グリーンアルミ原材料」を安定的に製造しています。

近年、CO₂削減や脱炭素社会の実現に向けた取り組みの必要性から、グリーンアルミ原材料への需要は世界的に拡大する一方、安定した調達企業が企業にとって重要な課題となっています。YKK APでは、建築用のサッシ、カーテンウォール、エクステリア、および産業製品などの商品で使用するアルミニウムを、日本国内で年間合計約14万トン使用しています。今回の増資を通じて、アルプラス社からのグリーンアルミ原材料の購入数量を増加させ、安定供給体制を強化することで、自社のサプライチェーンにおけるグリーンアルミの比率を高め、環境負荷の低減に貢献します。

YKK APは、2023年に策定したビジョン「Evolution 2030」の方針の一つとして、「地球環境への貢献」を掲げています。今後も、脱炭素化・循環型社会実現に向けた取り組みを強化し、持続可能な社会の実現に積極的に貢献していきます。



アルプラス社工場



製造するアルミ地金



■日本アマゾンアルミニウム概要

■アルブラス社概要

会社名	日本アマゾンアルミニウム株式会社	会社名	ALBRAS-Aluminio Brasileiro S.A.
所在地	東京都中央区	所在地	ブラジル連邦共和国 パラ州
設立	1977年	設立	1978年
責任者	代表取締役社長 岡田 俊郎	株主構成	Norsk Hydro ASA（ノルウェー、51%） 日本アマゾンアルミニウム株式会社（49%）
従業員数	11名	従業員数	約1,300名
事業内容	ブラジルにおけるアルミニウムおよびアルミナ各合併会社への投融資、経営への参画ならびにアルミニウム地金の引取りおよび分配	資本金	19.8億レアル
		生産量	アルミ地金 45万トン/年（2024年）

※1：ブラジルのアマゾン地域に豊富に賦存するボーキサイトおよびアマゾン水系の水力発電を利用して、アルミナ精製とアルミニウム製錬の一貫工場を建設、操業する日本とブラジルの経済協力資源プロジェクト